

ありがとう福祉センター、さようなら福祉センター



3月2日の「お別れセレモニー」に150名集う



第637号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (3月1日現在 ※外国人を含む)
 男女 3,424人
 3,530人
 総人口 6,954人
 世帯数 2,054戸

センターに感謝込め 手作りのお別れ会

「公民館グループ、会を精一杯盛り上げる」

新しい公民館の完成に伴い、総合福祉センターは取り壊しとなります。四十四年の長きにわたり公民館活動を支えてきた福祉センターに感謝し、その思いを永久に留めるため、三月二日に、懐かしい思い出が詰まる大ホールに二五〇名が集まり、「お別れセレモニー」が開催されました。公民館グループが、手作りの料理を用意し、歌や踊り、楽器演奏や体操などで、会を盛り上げました。福祉センターとお別れに関連し、その完成前後に公民館主事として活躍された神谷敏彦さんと、そこで結婚式を挙げられた桐崎長一さんに、寄稿していただきました。

青春時代を

公民館と共に

市ノ沢 神谷敏彦

昭和四十二年、青年団長をしていて青年代表を議会に送り込んだ直後、公民館主事となり、昭和五十二年まで足掛け十年、青春時代

を公民館とともに過ごしてきました。当時はあちこちで婦人を中心にした学習活動が盛んで、読書会や話し合い、レクリエーションで伴野区民会館や舟平会所などへ通った事を思い出します。昭和四十三年には休会していた婦人会を復活して、伴野の菅沼正子さん、河野の久保田あいさん、林里の

あると教わり、兎に角中身を充実しようと、色々の企画をして施設の活用を図りました。公民館が村づくりの拠点になるよう昼夜を問わず飛び回ります。各種学習会では、趣味や楽な事ばかりに目を向けないよう村や社会のことに関心を持たせようとした。公民館報も村内各種各層の編集委員を置き、紙面が一掃づくり。だと言う編集方針で、いろいろの村民を登場させる様にしました。異の研修会では毎回豊丘が取り上げられ、各地の公民館とも交流を挙げました。婦人たちの生活改善運動から始まった公民館結婚式も、多くの皆さんに利用を頂いて好評でした。「夜の男」と自負する激務の中、昭和四十五年五月に六組目で会費制結婚式を挙げました。大ホールに溢れんばかりの祝福を受け、甘い新婚生活を夢見ていたろう。最近亡くなった妻の心情を思うと胸が痛みます。

懐かしい結婚式場 感動が今再び

南市場 桐崎長一

私達夫婦は昭和四十九年三月に福祉センターで結婚式を挙げました。それは社会人となって四年目、世の中が高度成長期に差し掛かった時期でした。この度福祉センターが解体されることになったと聞き、大きな感慨に耽っています。

当時私は大阪で就職していましたが、結婚式は故郷でという思いがあったので、豊丘村における象徴的かつ近代的な建物であった福祉センターで挙げることに異存はありませんでした。大阪から出席してくれた妻の親族が当地の寒さに驚いていたのは懐かしい思い出です。親が段取りしてくれた筋書に従い肅々と進み、私達はほとんど手を煩わすこともなく式に臨みました。その写真を久しぶりに見ましたが、関係の皆さんからの温かくて心こもった祝福の言葉、演舞料理の数々等手作り感一杯の式に大いに感動しました。更に改めて思い出した姿、お世話になった多くの方々の姿を見るにつけ、胸が熱くなると共に、ひたすら仕事に没頭してきた自身の歴史を思い出します。



感謝の思いを永久に留めんと、高らかに奏でる

幾多の思い出

次々と浮かび

八年前にUターンして戻ってきました。帰郷後には諸行事でセンターを訪れており、薄れていた存在意識が徐々に懐かしく蘇ってきています。結婚から四十年世の中は通常の認識では予想も出来ない速度・内容で変化し続けています。住み易い村を目指して変化した証人がセンターだと思わずにはいられません。

今回の大雪、三年前の東日本大地震等自然現象の脅威は大きな心配事ですが、これに屈することなく十四年後に開通予定のリニア新幹線に乗ることを夢見、健康を維持していきたいと思っています。新センターが、村民にとって今後幾世代にも亘って心の支え、シンボルであって欲しいと願わずにはいられません。

二月中旬の休日に観測史上初の大雪が降りました。飯田市では約八十一センチ、豊丘村でも場所により約七十センチも降ったそうです。各家庭でも大変苦労されたかと思えます。私が勤務している慈恵園でも、朝から夕方まで雪かきに追われました。広い駐車場の除雪には本当に疲れました。それでも嬉しかったことがあります。子ども達の応援です。何も言わないのに雪が降る中、朝から夕方まで何人もの子ども達が手伝ってくれ、偶然仕事も休んで来ていた卒園生も手伝ってくれました。大雪の中黙々と雪を掻いている子どもの姿に、とても温かいものを感じました。子どもの成長とたくましさは、感謝よりも感動でした。

子ども達の成長は遅いようで早いものだ、最近になり気がつきました。毎日一緒にいると見落としてしまふ事もあります。あの頃は〇だったな」と、ふとした瞬間に成長を感じることが少なくありません。今回の執筆のことを話すと、「私たちの成長のことを書けば」と子ども達に返されました。まだまだ大人への道のりは遠く、楽しいことも辛いこともあるかと思いますが、子ども達の成長を近くで見ることができ、幸せです。私も、もっとうと子どもから、心の成長の喜びを学んでいきたいと思っています。

(下畑麻由未)

段丘

健康は食生活の改善で

第五分館学習会で学ぶ

分館学習会の良さは、同じ地域の方々が集まり、家庭的な雰囲気の中で、重要なことを気軽に学べる点にあります。第五分館では、私たちが生きていくうえで最も大切な「健康」をテーマに、生活習慣を改善する実践的な方法を学びました。成果が期待されます。

「まだ大丈夫は」
禁物
第五分館(堀越)
主事 武田伸洋



和やかな雰囲気の中で濃い話が

平成二十六年二月二十一日(金)午後七時、堀越区民会館大広間において、堀越区民約三十名が参加する中、第五分館主催の分館学習会が開催されました。講師として、豊丘村役場保健衛生係で保健師の壬生照子様をお招きし、「堀越の健康問題を考える」と題し、

生活習慣病の予防対策のお話をし、て頂きました。

現在、豊丘村の総人口は約七千名、高齢化率は約29%です。

今回のお話の中で改めて認識したことは、『体の中では見えない部分で病気の元となる症状がジワジワと進み、体を蝕んで行き、やがて何らかの自覚症状が出てきた時にはかなり遅いのです。しかし、日頃からの食生活を含む生活習慣を見直し改善することによって、予防することが可能です』という事です。

医療技術は私たちが想像する以上に進んでいます。『自分は大丈夫』と過信することなく、日頃から自分の健康は自分で注視することが大切だと思います。村では、そんな前向きな人の相談のつてくれるので、ぜひ相談してみましよう。

こちら資料館

しりょう館を見学して

一月二十八日に南小三年生五十五名が「昔の道具調べ」の学習で資料館に見学しました。

一組 田中 蘭

わきしいしりょう館を見学させてくれてありがとう。私たちが感じた事は、大昔の人々がどう道具を使っていたんだかと思いましたが、とくに電話は今のようになっています。『ブルブル』という音が少し大きいので、近くに耳を当てて聞いてみると、本物は思ったより音が

いまして、今は音がまわりの聞こえないので、へんりだっただけに感じました。

もう一つは二階へ上がるのに、

たので、本当はこういうものだったんだと感じました。

資料館主任 岡庭勇彦



これ何に使うのかなあ？

第七分館(壬生沢福島)

主事 高田明臣

四月より役員は過半数が入替わりましたが、メンバーの中には元役員を歴任された方もおられ、貴重な意見や助言を頂き、大変心強く年間の事業ができた事を感謝致します。



大勢参加して納涼大会を楽しむ

お薦めはグラウンドゴルフ

分館活動を振り返って

本年度は運動会はなく、七月の夏季レク(マレットゴルフ)と納涼大会・お盆の三球技大会への参加、運動会の代わりに計画した秋季レク(グラウンドゴルフ)二月に開催のお料理教室が主な事業でした。全て

好天に恵まれ、大勢の皆様と交流できた事が何よりの収穫でした。特に納涼大会では区民のみならず、区外からも参加を頂き、楽しんで頂けたことと思います。

分館より村内の皆様にはグラウンドゴルフをお薦めします。マレットゴルフとゲートボールを重ね合わせた様な競技です。限られた敷地に、皆さん自身でコースを考え作って頂く事で、老若男女問わず楽しんでもらえると思います。

さて、来年度からの増税により、限られた予算の中で、今まで以上に考え、事業を運営していかねばなりません。皆様が尚一層楽しんで、そして積極的に参加できる分館活動を目指し、皆で知恵を出し合い、頑張っていくようではありませんか。

「ありがとう」の言葉を聞いて

「社会を明るくする作文」より

北小五年 市澤昌典

ぼくが社会を明るくするために考えたことは、地元の行事に参加して、人と交流することです。たとえば、お祭りなどは、みんなでおみこしをかついたり、集団でやるのが楽しい。にぎやかで明るい気持ちになるからです。さらに、地元の人も交流ができるのでいいと思います。そして、学校でもやっている老人福祉しせつ所の「あぐり」、日赤、「はつらつ」、「ほほえみ」に加わることで、地域が活気づきます。また、その活動を通して、常にお互いの人々を助けたり励ましたりすることができれば、その社会はまさに安泰です。

「み」のほう問もいいと思います。それは、ぼくたちが一年生の時から続けてきた交流です。お年よりの人たちに、歌や合奏、おどりやげきを発表してあげたり、お手玉、トランプ、カルタ、けん玉、折り紙、手遊び、かたたたき、車いすをおすお手伝いなどをし、交流を深めてきました。その度に、とても喜んでくれて、何度も「ありがとう」と言ってくれたおばあさんの言葉を聞いて、すこすこうれしくなりました。クラスみんなが計画したかがあって、ぼくたちが老人福祉しせつ所をほうろくして、楽しいことをたくさんしてあげて、喜ばせてあげることが、お年寄りの人たちの気持ちを明るくすると思います。

元気でじょう夫なぼくたちが、このように地元の人々と交流することで、みんなが笑顔で明るく仲よくくらせる社会になるといいなと思います。

村民広場

県教委の姿勢に異議あり

なぜこうした指針を出したのか。それは生徒の学力が低下しており、しかも寝不足になって健康上良くないからだという。だが待てよ、朝の部活動が寝不足や学力低下の主たる原因だと考えるなら、県教委の先生方は現場を知らない管理の立場に立つだけの人であって、教え・育てる立場に立っていないことの証であると思う。

昔から「早起きは三文の徳」と言われ、早く起きなければならぬ。早く起きなければならぬ。早く起きなければならぬ。

なぜこうした指針を出したのか。それは生徒の学力が低下しており、しかも寝不足になって健康上良くないからだという。だが待てよ、朝の部活動が寝不足や学力低下の主たる原因だと考えるなら、県教委の先生方は現場を知らない管理の立場に立つだけの人であって、教え・育てる立場に立っていないことの証であると思う。

昔から「早起きは三文の徳」と言われ、早く起きなければならぬ。早く起きなければならぬ。早く起きなければならぬ。

もつと

育てる立場で

南市場 日下部 富次

この度(平成二十六年二月十三日)、県教委は、中学校の朝の部活動の原則禁止を表明し、実際の運用は各学校長に任せ、そしてこの指針と違うことをやるのであれば、どんな特別な事情があるか、それぞれが学校で説明することが求められる。」と圧力をかけている。

なぜこうした指針を出したのか。それは生徒の学力が低下しており、しかも寝不足になって健康上良くないからだという。だが待てよ、朝の部活動が寝不足や学力低下の主たる原因だと考えるなら、県教委の先生方は現場を知らない管理の立場に立つだけの人であって、教え・育てる立場に立っていないことの証であると思う。

昔から「早起きは三文の徳」と言われ、早く起きなければならぬ。早く起きなければならぬ。早く起きなければならぬ。

思い出を生きる力に変え

83名が豊丘中を巣立つ

三月は卒業の時節です。豊丘中学校でも、三年間の学業を終え、晴れて八十三名の生徒が母校を巣立ちます。高台に建つ、あの校舎での、数々の懐かしい思い出を胸に、それぞれの新しい道へと歩み始めるのです。どうか、中学校での思い出を生きる力に変え、これからの人生を、たくましく、そして心豊かに、生きていってほしいと思います。卒業生に幸多かれと祈ります。

忘れられない

充実した三年間

豊丘中三年 平澤 早季

私は、中学校に入学した時、クラス分けを見て、小学校の頃同じクラスだった人が少なく、正直とても不安でした。けれど、二年生の時に副ルーム長をやらせていただき、中学校で行なわれるクラスマッチなどの行事や、普段の生活を通して、自分のクラスが大好きになりました。



喜びも悲しみも、このまなびやと共に

だくことができ、とても嬉しく思いました。そして、優勝や賞をとることができました。このクラスの人達と会えなくなると思うと、とても悲しくなります。みんな、こそだと思っています。

~シリーズ~ 豊丘の自然

No.125

ナミテントウ (テントウムシ科)



今月は、書きたい事があるのに、まとまらない。
●STAP細胞の小保方さんのこと●過去最深八十一センチの大雪のこと●シリーズ「北尾トロの山里フントー記」のこと●冬の鳥(十二月、二月)の少ないこと●詩人まど・みちおさんのこと●童謡詩人金子みすゞさんのこと
すべてに共通する事は何か。そんな思いで、一

月六日に孫といっしょに見付けた越冬中のナミ(並)テントウを紹介する。彼らは長い歴史の中で、成虫での越冬と同一種とは思えない遺伝的斑紋多型「基本的には一紋型、四紋型、斑型、紅型の四型」を獲得して今を生きている。
「啓蟄(三月六日)」も過ぎた。今年がナミ(並通)でありますように。
(山田 拓)

記や情報処理などの専門的なことを、教えていただくので、将来に生かせるような力を、身につけたいと思います。専門的な授業の他にも、部活動にも入りたいと思っています。中学校でも、部活動に入っていたので、高校でも、部活動に入り、新しいことを教わったり、できるようになったりしたいと思っています。

中学校三年間は、本当に楽しくて、あつという間でした。高校に進んでも、充実した三年間を送りたいと思っています。

中学校を卒業したら、次は高校生になります。私は、地元公立高校の商業科に進学します。商業科では、簿記

魅力的な 紙面作りに尽力

南市場 桐崎 長一



南市場在住の桐崎です。昭和二十二年生まれです。ので団塊の世代に属します。

十八歳まで当地で過ごし、その後進学、大阪で就職し計四十年間実家を離れていて八年前に戻ってきました。その後高森の会社に六年間勤めて退職しました。

新しい公民館や図書館になる「まちづくり交流センター」(仮称)は、五月に入ってから使用開始になる見通しです。建物の完成は三月末の予定で、四月に入って、現在の公民館や図書館からの移動作業を行ないます。新施設の正式名称や使用規定等は、追って周知されます。また、建物周辺の整備には、その後数か月を要します。すべての完成をめざし、今は工事が着々と進んでいます。

皆様の元に原稿の依頼、取材等で伺った折には宜しくご協力をお願い申し上げます。
(公民館 唐澤克己)

どうぞどよろしく

館報編集委員に桐崎さん

中学校三年間は、本当に楽しくて、あつという間でした。高校に進んでも、充実した三年間を送りたいと思っています。

中学校を卒業したら、次は高校生になります。私は、地元公立高校の商業科に進学します。商業科では、簿記

中学校三年間は、本当に楽しくて、あつという間でした。高校に進んでも、充実した三年間を送りたいと思っています。

中学校を卒業したら、次は高校生になります。私は、地元公立高校の商業科に進学します。商業科では、簿記

〈豊丘柳クラブ豊柳会〉

▼課題「効」互選

| | |
|------------------|--------|
| 商品券溜めたお店は店じまい | 安田 喜子 |
| 熱効が特効薬と胃腸病み | 西元 峯子 |
| 効き目なし四十息子にお説教 | 林 桃子 |
| 薬より係のひと声効果大 | 宮下 小町 |
| ▼課題「電」互選 | |
| 電源を切り忘れたか落ち着けず | 宇井 惠美子 |
| 停電で電気コタツの寒い朝 | 喜寿 喜多 |
| 終電に乗れず歩いた青春譜 | 桃沢 健介 |
| 過疎の村灯る電灯佯しかり | 吉川 燎 |
| ▼自由吟 桃沢健介選 | |
| ソチに咲くドラマに酔って目が赤い | 久保ひろし |
| 名護選挙給の札束効きめなく | 福沢 勝美 |
| 現代のベーターペンの深い罪 | 原 美風 |
| 軸吟：多芸多才よき先達が星になる | |

福は内老の炬燵にころぶ豆
四つ割りの白菜湯気と客人に
福寿草飾しずかみに重ねゆく
夕暮やくしやみ気になる看取人
寒の明け出湯に心解きほぐす
藪入の猫追いかけてダイエット
暁の峰に寒月 朱を 極め
寒夕焼け若やぎてみゆ友の顔
やしようまを妻も買ひて道の駅
深雪野の鹿跡埋もる生命かな
訪ふ人ありヒヤシンス間を和しむ
段丘の土の手触り春仕度
幼子は目まで隠して冬帽子
剪定枝焚く焔よりすだま飛ぶ
(公民館短歌会)

五千年の刻を継ぎ越し鑄付きの土器の出土は村の宝ぞ
筒井 恵子
まだ消えぬ真白き上に降り積もる気象用語にカミ雪とあり
松尾ヒサコ
霜朽ち葉かき分けそと手を入れれば小さき露の丸みに触るる
大原眞由美
柿の木にご苦勞様と施肥をして樹に教わりて剪定励む
松下 泰見
無駄口をどれだけ喋ってきたのかな生きる術さの言い訳ほ止せ
富水 博道

(八日会)

早朝の鐘の音を聞きシヨキングに往き交う人と馴染みの顔が
紅 梅
雪の中黄色に色付く福寿草寒さの中はぼつぼつと咲く
織田 大原
眞白な雪の布団に包まれておそまき菜葉はねむりていんか
鳩の群羽根を振るのも止めるのも一糸乱れぬ集団飛行
河原 梨花
去年に蒔く菜物業は雪の下緑欲しくも畑に眠る
吉沢 新子
松島 八重

俳句 短歌

中山 寿子
磯部セツ子
田中 静
竹村 茜
片桐 洋子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
和地 睦夫
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 惠美子
北原 昭子